

学校教育目標 新しい知を拓き、ともに生きる豊かな社会を創るため、主体的に学ぶ、人間性豊かな「南古谷っ子」を育成する
目指す学校像 みんなが みんなを 大切にする学校
南古谷小学校5つのじまん あいさつ ことば なかよし 読書 歌声

川越市立南古谷小学校



学校だより

なのはな

かしこく ゆたかに たくましく

令和6年6月28日発行

ICTを「文房具」として

校長 馬場 雅史

先週末に関東地方も梅雨入りし、蒸し暑い日が続いております。そのような中ですが、1年生が育てているアサガオがちらほら花を咲かせています。その愛らしさに心が爽やかになります。アサガオについて少し調べてみると、奈良時代末期に中国から漢方薬として伝わり、その種類は1600以上になるそうです。私自身も小学生の頃に育てていたのを思い出しました。日本人には昔から親しまれていて、なんと、100年前の理科の教科書にも載っていたそうです。アサガオの歴史やその生長（葉の付き方やその表面、つるの伸び方等）に関してまだまだ知らなかったことも多く、驚かされるばかりです。

ところで、学期末の授業参観・懇談会では、ご多用の折、たくさんの保護者の皆様にお越しいただき誠にありがとうございます。7月も目前に控え、1学期のまとめ・振り返りの時期となってまいりました。夏休み、2学期へと繋げる大切な時間と捉え、しっかりと締めくりたいと思っています。懇談会時の校長挨拶では、以下の内容をお話ししております（一部抜粋）。

…ところで、先月行われた個人面談、あるいは月毎の教育相談等の中で、本年度導入したAIドリル「Monoxer（モノグサ）」に関して、その利用の仕方や子供に対する影響等につきまして、様々なご意見をいただいております。中でも、「子供の取組の状況が見えない。」といったご意見がございました。改めて資料を配らせていただき、保護者の皆様の携帯端末等でその状況を確認できるように進めて参ります。設定等で一手間かけてしまうのですが、目視できる子供たちの取組だけではなく、我々の目が届かない所での子供たちの頑張り、例えば、取組回数による粘り強さや記憶定着までのアプローチ等、数値を踏まえた進捗状況を捉えられるようにしたいと思っています。その上で、見守りや励ましを行っていただきたく思います。また、「画面上の記入のみで実際に書く技術が下がっている、落ちている」、さらに、「Monoxer（モノグサ）導入の際、保護者アンケートをして欲しかった。」等のご指摘もいただきました。日々の授業の中で、実際に鉛筆等を持って筆圧をかけて書く場面を大切にすると共に、家庭学習の在り方についても発達段階に応じて工夫・改善できるよう、教職員一丸となって指導・助言して参ります。そして、次年度の教育課程実施に向けては、アンケート等も踏まえたしかるべき対応をして参ります。このことに関連して、今年の夏休みは一人一台端末の持ち帰りを実施したいと考えております。AIドリル「Monoxer（モノグサ）」のさらなる活用の他、自主学習での調べ学習や個人記録の蓄積等、端末を利用するの情報活用能力をさらに磨いていきたいと思っています。保護者の皆様の中には、長期休みの期間、子供たちの手元に端末があるリスクやデメリット等の不安を感じる方もいらっしゃるかと思います。私もその不安はあります。しかし、禁止して利用させない環境を作ることよりも、そのリスクやデメリットを子供たちにしっかり指導した上で、保護者の皆様と共通歩調で進めていくことの方が教育として大きな価値があると思っています。長期休暇前に、今一度、ICT関連のトラブル等に関して適切な指導をして参ります。どうか、端末の持ち帰りに関しまして、ご理解・ご協力をお願いいたします。…

『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）』では、「一人一台の端末環境を生かし、端末を日常的に活用することで、ICTの活用が特別なことではなく『当たり前』のこととなるようにするとともに、ICTにより現実の社会で行われているような方法で児童生徒も学ぶなど、学校教育を現代化することが必要である。児童生徒自身がICTを『文房具』として自由な発想で活用できるような環境を整え、授業をデザインすることが重要である。」と述べられております。

知らなければならない知識、会得しなければならない技能は、ICTの力も借りて自分のペースで確実に学び取れるようにしていきたいです。また、自分の興味・関心については、ICTの力も借りて様々なソースに当たり、自己の経験と繋げて思考し、探究を繰り返していく力を身に付けられるようにすることが理想だと思います。授業時の利活用やAIドリル「Monoxer（モノグサ）」の導入、夏季休業中の持ち帰り等が、子供たちの「学びに向かう力」を育むと捉え、適切な指導・助言を繰り返し行って参ります。

QRコードは紙面をご覧ください。

欠席連絡はコチラから

